

新型コロナ ワクチン効果に期待

新型コロナ

岡山同友会
定例幹事会

中野教授(川崎
医科大)講演

岡山経済同友会(岡山市北区厚生町)は26日、定例幹事会を同市内で開き、国の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会の委員を務める中野貴司川崎医科大小児科教授が「今後の新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種について」と題して講演した。

中野教授は新型コロナワクチンの有効率に

関し、国内で接種が始まった米ファイザー社製は95%とインフルエenzaワクチンの50%前後を大幅に上回ると解説。安全性についても「海外では今のところ接種した人の方が重い病気にはかかっていない」と重症化の予防に期待感を示した。

ただ「ワクチンではきたばかりで、まだまだデータが必要」とも

指摘。今後検証すべき課題として、年齢や人種、基礎疾患による有効率や安全性の差などを挙げた。

また接種は2回必要で、2回目は原則3週間後の同じ曜日▽基礎疾患のある人は事前に主治医に相談を▽急激なアレルギー反応に備え、接種後15分は会場にとどまる―などと注点を説明。「あと1、2カ月以内に一般の皆さんの手元にも案内が届く。引き続き国や県、医療機関からも情報提供していく」と話し、理解を求めた。

聴いた。

会員ら約140人が

定例幹事会で講演する中野教授



(森元俊一朗)